

新潟医療センターニュース

第46号

発行 新潟県厚生連労働組合新潟支部
発行責任者 仁 澤 蕪

健康を考える憩いの場

様々な地域保健講座・職員研修会が開かれる



新緑の眩しいこの季節になると、院内では様々な学習会が開催されます。地域の皆さんを対象にした保健講座や職員向けの研修会を幾つかご紹介いたします。

たくさんの方々に集まって頂きました！

六月十五日(土)当院講堂にて地域保健講座が開催され、五十六名が参加されました。今回のテーマは当院歯科口腔外科部長、道見登先生による「知って安心!身近な病気と歯科治療」。

不整脈、心臓弁膜症、糖尿病、肺炎、骨粗しょう症の治療中に歯科治療をする際の注意点や薬と歯科の関係、歯科治療でできる病気の予防方法などクイズや画像を交えて、病気と上手に付き合うコツを勉強しました。口腔ケア用品のお試しコーナーでは「歯周病予防」「口内



歓迎の挨拶・田中病院長

炎予防」「口腔乾燥予防」に役立つデンタルリンスや口腔保湿剤を紹介。参加者の皆さんが初めて体験する口腔ケア用品も多かったようです。

口腔の健康と全身の健康は密接につながっています。豊かな生活のためにどんどん歯科を活用して欲しいという道見先生と参加者の距離が近く、アットホームな雰囲気が印象的なセミナーでした。

地域保健講座担当責任者

貝瀬 直美

毎年繰り返し開催される循環器セミナー

新潟医療センターでは、全職員を対象に毎年循環器セミナーを行っています。六月から始まり七月三十一日まで九回にわたって実施しています。

循環器セミナーとは、色々あ



セミナー講師・大塚循環器内科部長

る心臓の病気とその治療を学べる研修会です。毎年繰り返し開催するセミナーを行っている理由としては、新たな職員が入職してくること、医療も日々進んでいるため新しい治療法が取り入れられているからです。循環器セミナーというだけあって、循環器内科の頼もしい先生方が講師となつて教えてくださいます。ただ本に書いてあることを伝えるのではなく、実際の治療の現場でのデータを踏まえて講義があるので、より実践的な内容となっております。看護職に限らず、医師、リハビリ、薬剤科、栄養科、検査科等の参加もあり、部署や職種に関係なく参加しています。色々な職種で知識を深めることで、日頃のチーム医療につながっているのだと思います。

循環器内科病棟

看護師長 落合 清美

循環器セミナーを受講して

四月に新潟医療センターへ配属されて早三か月が過ぎ、学生以来初めての生理検査配属でも左も分らず日々奮闘しています。特に心臓カテテル検査に関しては今まで触れたこともなく、周りのスタッフには迷惑をかけ通しです。そんな中で当院医師による「循環器セミナー」の開催を知り、難しくても少しでも学べるのであればと思いい受講しました。

セミナーは毎年新人に向けて行われるもののように内容も分かりやすく、普段は恥ずかしくて聞けないような初歩的なことまで実際の症例の解説や写真、データなども交えて丁寧にとまっています。関係スタッフ向けの難しい内容だと思っていた私にとっては嬉しい誤算です。まだまだ講義は続きますが、受講するのが楽しみです。

生理検査は奥の深い分野で、カテテルに関してだけでもペースメーカーや疾患など知らなければならぬことはまだまだ山のようにありますが、一歩ずつでも確実に成長していきたいと思います。

生理機能検査 山田 将也